

X線自由電子レーザー施設SACLA

- 兵庫県の播磨科学公園都市にある世界最高のX線レーザーを生み出す施設
- 最大5本のビームラインを設置可能（当初は2本）
- 第3期科学技術基本計画の国家基幹技術として、平成18年度～22年度にかけて開発・整備。欧米に比べ最もコンパクト且つ低予算で完成。

SACLAの特長

- ・ **短い波長** [硬X線→原子レベルでの解析が可能]
- ・ **短いパルス** [フェムト秒パルス→化学反応等の極めて早い動きの解析が可能]
- ・ **質の良い光** [高干渉性→試料を調製しなくても生きたままでの解析が可能]



平成23年6月7日に0.12 nm
(6/10に0.10nm、7/13に0.08nm、
10/28に0.063nm)のX線レーザー
を発振！

今年度内に多くの研究者等への供用を開始予定

◆ X線自由電子レーザーの構成

